

東日本大震災から約 1 年、 これからも必要とされるアートのちから ～いわき・アリオス、仙台・アルクトの活動から

人びとが暮らすまちと、アート／舞台芸術／演劇／ダンス／劇場は、
どのような関係を切り結んでいけるのでしょうか。
東日本大震災から約一年を経た現在、
これまでの活動の蓄積があらためて試され、問われています。

いわき、仙台で活動する文化施設や団体がこれまで取り組んできたこと、
そして、これから取り組もうとしている活動の報告と、
世田谷パブリックシアターが、地域コミュニティで行ってきた取り組みから、
その成果と可能性をみつめ、
アートの持つちからを、どのように活用することが必要なのかを検討します。

- ◎日時：2012年2月18日（土）16:30～18:30
- ◎会場：ヨコハマ創造都市センター YCC 3F（みなとみらい線・馬車道駅直結）
〒231-8315 横浜市中区本町 6-50-1 Tel.045-221-0325
- ◎参加料：無料
- ◎お申込み：http://setagaya-pt.jp/workshop/2012/02/1_2.html 申込無しでの当日参加も可能。
パネラーへの質問や参加予定人数確認のため、お申込みいただければ幸いです。
- ◎お問合せ：世田谷パブリックシアター Tel.03-5432-1526

❖ パネリスト



前田優子

いわき芸術文化交流館アリオス企画制作課コミュニティサービスチーフ
1993～2003年、鼓童国内企画制作部に在籍。2004～2010年、フリーとしてコンサート企画制作およびアーティスト制作をおこなう。2007年、いわき芸術文化交流館開設室に参加、アウトリーチプログラム「おでかけアリオス」の他、ワールドミュージック等の企画を担当、現在に至る。



千田みかさ

Art Revival Connection TOHOKU 事務局
JICAシニアボランティアとしてモロッコ、ホンジュラスで障がい児教育に携わる。並行して、コンテンポラリーダンス・演出家・ワークショップファシリテーターとして活動。2008年、即興パフォーマンス集団・すんぶちよ代表。2011年、震災を機に設立したArt Revival Connection TOHOKU事務局で活動。



すずきこーた

演劇デザインギルド（世田谷パブリックシアター ファシリテーター）
ワークショップファシリテーター・俳優。「地域の物語」「小学生のためのWS」「先生のためのWS」などを進行。劇場以外でも小中高校で数多く授業を行う。在日日系ペルー人と日本人の演劇グループCerro Huachipaでも中心的に活躍。演劇を使って問題を考える「フォーラムシアター」の活動も行っている。演劇デザインギルド理事。



柏木 陽

NPO法人 演劇百貨店（世田谷パブリックシアター ファシリテーター）
俳優、演出家。1993年、演劇集団「NOISE」に参加し、劇作家・演出家の故・如月小春とともに活動。2003年にNPO法人演劇百貨店を設立し、代表理事に就任。全国各地の劇場・児童館・美術館・学校などで、子どもたちとともに独自の演劇空間を作り出している。

司会進行／矢作勝義 世田谷パブリックシアター 教育開発課
1965年生まれ。東京出身。大学時代から演劇活動を始め、小劇場での活動を経て、1998年4月から世田谷パブリックシアター勤務。劇場部教育開発課長補佐。ワークショップ・レクチャーなどの学芸事業を行う教育グループと、営業・広報グループの統括担当を務める。